

大学生による映像制作プロジェクトで 川連漆器の魅力を発信！

県主催の「県内学生と工芸品をつなぐ！映像制作インターンシップ事業」が、川連漆器の産地である川連地区で行われ、県内の大学生8人が参加しました。

学生が若い感性と新しい視点で制作した映像は、川連漆器の魅力発信に活用されます。



秋田県漆器工業協同組合

理事長 さとう こう 佐藤 公 さん

普段自分たちが当たり前のようにやっている作業が、見る角度によって違う見え方がするんだなと感心しました。

完成した映像は8人8様で素晴らしく、自分たち職人の技をカッコよく仕上げていただき、職人一同より一層の技術向上への思いを強くしたところです。

また、参加した学生全員が市外の出身で、湯沢に川連漆器という伝統産業があるということを知ってもらう機会になったことは産地として非常に喜ばしく感じています。

ぜひ市民の皆さんにも映像をご覧ください、川連漆器の魅力に触れてほしいと思っています。



8人の学生が制作した8本の映像は、秋田県漆器工業協同組合のホームページからご覧いただけます



◎ 声で伝える魅力
物語を語る上で大切にしていることは、その世界観に深く入り込み、登場人物の心情を思い描くことだと、言う佐藤さん。「朗読をすることで、物語の登場人物に会えたように感じ

◎ 声で伝える魅力

◎ 朗読との出会い
陸上自衛隊に在籍していた際の先輩の勧めで朗読教室に通ったことをきっかけにのめりこみ、朗読音読指導士[®]の資格を取得した佐藤さん。「子どもの時から人前で発表するのが好きだったが、基本から学んでいくうちにどんどんと朗読が楽しくなっていく」と話します。

*朗読音読指導士[®]とは民間資格で、音読に関する専門的な知識と技術を身に付けたことを認定された方。

市内在住の佐藤豊さんが、「第13回久留島武彦顕彰全国語りべ大会」に出場し、一般の部で最高賞となる久留島武彦賞を受賞されました。

物語に込められた思いを言葉に紡ぐ

朗読音読指導士[®] 佐藤 豊 さん
第13回久留島武彦顕彰全国語りべ大会
一般の部
久留島武彦賞(最高賞)を受賞

久留島武彦顕彰全国語りべ大会とは
童話ゆかりの地である大分県玖珠町で開催される大会。事前審査を通過した語りべが、物語を声で表現する力を競う。



られること」や、「自分の心情が伝わり、聞き手の感情が動く瞬間を味わえること」に大きな魅力を感じていると話していました。

◎ 今後に向けて

以前よりも、人と人との会話が減っていると感じる中で、「朗読を通して、世代を超えて言葉でつながる場をつくらしていきたい」と展望を語りました。

大会での様子は
こちらから



大分県玖珠町
ホームページ